

*New Creation Church in Kyoto since 1997*

# *Miracles*



2024年4月14日号 No.1410

ワクワクしながら！

主管牧師 藤林イザヤ

1997年4月13日(日)に、京都中央チャペルは船出しました！本日、それから27周年の記念日を迎えることができました。この年月を導いて下さった主なる神様に心から感謝いたします。

京都中央チャペルは「理念発信型の教会」ということで、色んな理念を掲げました。1つは「多様性の一致」でした。京都中央チャペルの歴史では、ワンネスという神観がベースでした。ワンネスですと、一致に傾斜します。要は多様性がないのです。なので、女性は長髪とか、カラフルな衣服は着用しないとか、まあ、色々ありました。

しかし、三位一体論を学び、神学的に検証を積み重ねる中で、ワンネス神観を脱ぎ捨てて、三位一体なる神を中心に据えるようになりました。このプロセスは、自分自身の信仰において、想像を絶するしんどさが伴いました。でも、これを京都中央チャペルに集っている兄弟とも分かち合うようになっていきました。助けとなったのは、アンデレ宣教神学院で学ぶ人たちが次々と現れたことでした。同じ学びをしていく器が育っていく中で、教会の神学的な移行も進んでいくようになりました。今では、三位一体の神の枠組みで祝祷するのは当たり前のことですが、その用いている文言に、少しだけ痕跡が残っています。つまり、Iコリント13.13の御言葉そのままを使用しているのです。当初は日本福音ペンテ

コステ教団に所属していましたので、その牧師様方がお聞きになっても、問題視されないように、という配慮からでした。

いずれにせよ、三位一体論の枠組みになって、解放されました。三という多様性は、自由を開きました。さらに、同志社の神学部で学ぶことを通して、自己を相対化する道を習得しました。一に傾斜していきますと、どうしても単一神論ですから、絶対化しやすいのです。神ではない人間が絶対化しますと、これは自己神格化という偶像礼拝になります。この傾向は習慣として、長らく培ってきたものですから、簡単には抜けませんでした。でも、根気強く、森孝一先生や野本真也先生らにご教授頂いたお陰で、徐々に身につけてきたように思います。

自己を相対化するというのは、自分は人間であるということをし、受け止めることです。さらに、その人間が、イエス・キリストの救いによって、神の子とされたことを、受け止めることになります。神に創造された者として、神の子として生きていくということは、21世紀のキリスト信仰においても、確かなトレンドになっていくでしょう。既にそういう流れが、あちこちで起こっているように思います。

全ては、三位一体論をしっかりと定着させることから始まりました。その行き着いた橋頭堡<sup>きょうとうぼ</sup>が、キリストの救いとは「神の子とされること」でした。なので、繰り返し語っています。語り続けます。

最初の10年は、福音とは何か？を考えました。人はキリストによって救われた元罪人になることでした。次の10年間は、救われた人は何か？を考えました。それは神の子でした。今第三の10年におりますが、教会とは何か？を考えています。つまり、神の子たちが組み合わされて、建て上げられていく教会は、どんなものになるのでしょうか？28年目、ワクワクしながら、前進したいと思います！

---

【藤林邦夫師の3分メッセージ】 『死亡欄』 90

新聞の死亡記事の欄を丹念に読むようになると、そろそろ自分の死を意識し始めているといえるでしょう。

亡くなった人はいくつだったのか、どのような病気であったか。この2つは一番気になります。

自分より若いと「お気の毒に」と思い、残された家族の痛みを考えます。同年配であると身につまされ、ずいぶんお年を召しておられると「天寿を全うされた」と思うのです。

しかし死が身近な者に及ぶ時、これは回復しがたい打撃を受けますし、それ以後の人生は決してもう同じではありません。

聖書学者で牧師の榊原康夫先生は、昨年春に夫人を天に送られたのですが、外出先から帰ってみると、夫人がまるでうたた寝をしているように、今で横になっておられたそうです。

静かなその姿の中には、もう命はなくて、その靈魂は天に召されていました。まだ60歳前後のお年であったそうです。余りにも急なことで、エノクのように取り去られたというのが実感であると書いておられました。

ある作家は、物心ついて以来、15年ほどのうちに、祖母と叔父と祖父と父と兄と母が、バタバタと死んでいった。その頃、死がよく分からず、ただ怯えていた。電報の声に飛び上がり、電話が鳴ると死の連絡を予想し、いつも胸騒ぎを覚えていたといいます。

事実、死はいつ訪れてくるか、その日、その時が私たちには分からないのです。しかし「人間が一度死ぬことと、死んでから裁きを受けることは、定まっています」（ヘブライ書9:27）と聖書は語ります。

死亡記事を読む時、その備えをするように神は語りかけておられます。

身近な者の死を体験する時、その用意はどうであるかと、主は問うておられるのです。他人事である死が、自分事になる前に、死の向こうにある天国への道を、確かなものとしておきましょう。

★今週の予定

14日(日) 創立27周年礼拝 10時～ 谷川の流れ祈禱院 牧 一穂師(岡山RC)  
18日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス

★礼拝のご案内

日曜日 教会学校・New Creation Seminar 9:15 アバハウス 3F, 4F  
聖日礼拝 11:00- アバハウス  
手話礼拝 11:00- アバハウス (第三週目の聖日礼拝)  
支援礼拝 13:30- アバハウス  
木曜祈禱会 19:30- アバハウス

★4月の予定

21日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 加瀬宣雄師  
25日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 宮本俊一師・正子師(ミシガン)  
28日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 誕生祝歌:加瀬多恵姉

★5月の予定

2日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス  
5日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 聖餐式  
9日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 吉田茂樹師  
12日(日) 母の日祝福礼拝 11:00- アバハウス 特賛:安田兄  
16日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス 今井久美子師  
19日(日) ペンテコステ礼拝 11:00- アバ 今井直喜師 特賛:ミラクワ  
23日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス  
26日(日) 聖日礼拝 11:00- アバハウス 誕生祝歌:荒井知子姉  
聖日礼拝直後 Church Builders Conference 2024  
30日(木) BLD 祈禱会 19:30- アバハウス

◆2024年4月4日(木)のBLD 祈禱会出席者数	《合計16名》
◆2024年4月7日(日)の礼拝出席者数	《合計50名》
CSK…4名 聖日礼拝…32名 Zoom…14名	

京都中央チャペル (αββα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

<http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル